

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名 **教育委員会**

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	生活に根つき_誇れる文化・スポーツの振興
	取組みの方針	芸術・文化の振興

担当局 / 総務担当課名	教育委員会	企画課
連絡先	582-2357	

21年度計画

-2-(2)-

施 策 名 **市民が芸術・文化に接する機会の拡大**

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市民が日常生活の中で多様な芸術・文化に接し、豊かな感性の育成と教養文化の向上を目指して、各館において、質の高い標本・作品などに接する機会を提供していきます。また、各館では、市民や子どもたちの体験学習の場として効果的に活用できる事業を展開し、芸術・文化活動をしている人たちと交流できる機会の拡大をしていきたいと考えています。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	芸術・文化の振興

施策の成果	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)		現状値		平成21年度	目標値	
	年度	平成21年度	計画	実績		年度	平成22年度
美術館等文化施設の入館者数 魅力ある企画展等を開催し、入館者数の増加に努めています。平成22年度までは入館者数768,000人を目指し、平成23年度以降については新たな計画の基に推進します。	年度	平成21年度	計画	768,000 人	年度	平成22年度	
	現状値	779,480	実績	779,480 人	目標値	768,000人	
			達成度	101.5 %			
	年度		計画		年度		
	現状値		実績		目標値		
			達成度	%			
コスト A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]	年度		計画		年度		
	現状値		実績		目標値		
			達成度	%			
	年度		計画		年度		
	現状値		実績		目標値		
			達成度	%			
			事業費	243,231 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)		
			うち一般財源	124,808 千円	61,800 千円		

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	B	全入館者数が目標値を超える結果となっており、各館において概ね魅力的な展示が行われた結果であると考えます。今後も、継続的に企画展・特別展等を開催し、市民が芸術・文化にふれる機会を創出していきます。
		開催した企画展の成果を分析し、新規入館者の増加及びリピーター率の向上を図ります。市民のニーズを掘り起こしながら、親子で楽しめるイベントなどを検討し、魅力的な企画展・特別展を開催していきます。また、今後の厳しい財政状況を踏まえ、展覧会の質の維持に努めながら、経費の精査を行っていきます。また、開館後35年が経過した施設・設備の老朽化が進んでいる美術館の改修や、魅力を高めるための博物館の施設整備などについても検討していきます。

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価 下記のとおり

施策名 市民が芸術・文化に接する機会の拡大

構成事業名	事業費		事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性			
	C時点[21年度:執行額]				21年度			21年度
美術館・博物館等の企画展充実事業			243,231 千円	61,800 千円	裁量的経費			ア
事業費のうち一般財源			124,808 千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				

局施策全体のコスト	21年度	
	事業費	人件費(目安)
	243,231 千円	61,800 千円
施策全体の事業費のうち一般財源	124,808 千円	

局施策の
21年度評価

B

【局施策評価】
 A: 大変良い状況にある
 B: 概ね良い状況にある
 C: 概ね良い状況とまでは言えない
 D: 不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	教育委員会	文化財課
連絡先	582-2389	

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	生活に根つき、誇れる文化・スポーツの振興
	取組みの方針	芸術・文化の振興
	主要施策	市民が芸術・文化に接する機会の拡大

関連計画	北九州市教育行政総合計画(いきいき学びプラン)
事業期間	昭和49年度～
経費区分	裁量の経費

-2-(2)-

事業名	美術館・博物館等の企画展充実事業
-----	------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市民の豊かな感性の育成と教養文化の醸成を図るためには、質の高い標本・作品などに接する機会を提供することが求められています。館の一層のPRに努めるとともに、各館において継続的に企画展・特別展を開催し、館の存在をアピールしていく必要があります。また、厳しい財政状況の中で、企画展・特別展の質や回数を更に厳選のうえ開催し、入館者数の増加に努めていくことが必要であると考えています。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	市民が芸術・文化に接する機会の拡大	成果

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由	
		当初計画	魅力ある企画展等の開催 美術館・博物館等の入館者数 768,000人	768,000人	指標等の見直しを行う予定			
	現状	魅力ある企画展等の開催 美術館・博物館等の入館者数 779,480人	768,000人	指標等の見直しを行う予定				
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)					平成21年度	目標	
	美術館等文化施設の入館者数					計画	768,000 人	年度
	魅力ある企画展・特別展を開催し入館者の確保に努めていきます。					実績	779,480 人	内容
						達成度	101.5 %	768000人
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]					事業費	243,231 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)
						うち一般財源	124,808 千円	61,800 千円
単年度計画								

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	当初計画に掲げた入館者数は目標を達成しており、概ね魅力的な展示が行われた結果であると考えます。しかし、個別の館を見た場合、目標値を下回っている館もありました。
------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	目標を上回る集客数を得ており、成果をあげています。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	事業費の削減に努め、魅力ある企画を効率的な経費で実施することができました。また、実行委員会形式による大規模な企画展・特別展を開催し、外部資金の獲得にも努めました。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	計画以上の入館者があることから市民ニーズは高いと思われます。また、市民の豊かな感性の育成と教養文化の向上のため定期的な企画展等の開催が必要であると考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	各館が所有する貴重な作品・標本や、学芸員が培ってきた展示技術や専門知識を、市民に還元するために必要であると考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア	開催した企画展の成果を分析し、新規入館者数の増加及びリピート率の向上を図ります。市民のニーズを掘り起こしながら親子で楽しめるイベントなどを検討し、魅力的な企画展・特別展を開催していきます。また、今後の厳しい財政状況を踏まえ、展覧会の質の維持に努めながら、経費の精査等を行います。また、開館後35年が経過し施設・設備の老朽化が進んでいる美術館の改修や、魅力を高めるための博物館の施設整備などについても検討していきます。